

平成30年度 第2回学校 知らせ

保護者の皆様には、お忙しい中「学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。結果がまとまりましたのでご報告いたします。

梅津北小学校が学校教育目標の実現に向けて、特に大事にしたいことに絞ってアンケートをとり、保護者の皆様からのご意見・児童（低学年、高学年）へのアンケート結果・教職員の自校評価を第1回のアンケート結果と比較し、継続すべきところ、改善すべきところを明らかにして、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。

アンケートの方法

アンケートの項目を、【◆確かな学力】【◆豊かな心・健やかな体】【◆学校・家庭・地域の連携】のグループに分け、それぞれの項目について「重要度－実現度」を尋ねる形式にしました。この二つを相互に関連させたとき、重要度・実現度がともに高い項目は比較的肯定的なご意見が多く、重要度が高く実現度が低い項目は本校の課題とみることができます。

アンケート結果より ～全項目は掲載できませんので、ご了承ください。～

（「よくできている」「大体できている」を合わせて「実現度」を表記しています。）

【◆確かな学力】



	第1回	第2回
子どもに読書をする習慣が身に付いていること (児童：時間を見つけ、進んで本を読むこと)	保護者	35.5% → 41.4% ↑
	低学年児童	84.0% → 79.5% ↓
	高学年児童	62.6% → 54.5% ↓
	教職員	50.1% → 55.0% ↑

第1回と比べ、保護者・教職員の割合は上昇していますが、児童の割合は下がっています。図書ボランティア「ありすのいえ」の方々による読み聞かせや、学校司書による本の紹介など、本に親しむ活動は、年々充実しています。子どもたちが本を手に行っている姿もよく見かけます。保護者・教職員の割合が高いのは、そういう姿を思い浮かべてのことだと思います。

児童の割合が下がっているのは、設問の文言にある『時間を見つけ』という部分に関わっていると思われます。以前は、早く課題が終わってれば、読書をする児童も多く見られましたが、今は他の課題をしたり、自主勉強をしたりする児童が増えています。そういう理由で、当てはまらないと答えた児童が増えたのだと思われます。数値では見えてきませんが、読書に親しむ児童は増えています。「本が好き」「読書に親しむ」姿を大切にしていきたいと思います。

「本の貸出冊数が1冊までとのことですが、できれば2～3冊に増やしていただけるとうれしいです。」(自由記述欄より)というご意見がありました。学校図書館に配架されている冊数と児童数から、貸出冊数を決定しています。学校予算以外にも、PTA会費から新しい図書も購入していただき、年々冊数が増えてきています。来年度に向けて、校内で検討していきたいと思っております。



子どもに、学年×10分の 家庭学習の習慣が身に付いていること (児童：毎日決まった時間に、 家庭学習をすること)		第1回	第2回
	保護者	62.8%	68.4%↑
	低学年児童	80.7%	81.9%↑
	高学年児童	63.4%	67.3%↑
	教職員	56.3%	55.5%↓

第1回に比べて、低学年児童・高学年児童とも実現度の割合が上昇しています。保護者の方の割合も大幅に上昇し、家庭学習の習慣が身に付いていることを実感していただいているのだと思います。家庭学習について、学校でも継続して働きかけをしてきました。特に高学年児童では、第1回学校評価特別号で『学習する時刻を決めることは、家庭学習を継続していくうえで、非常に大切』とお伝えしました。ご家庭で、家庭学習の大切さを理解し、お声かけやご支援いただいた結果だと思います。6年生児童は中学校という新しい学校生活の中でも、身に付けた家庭学習の習慣を大切に継続して行ってほしいと思います。

また、休日に家庭学習に取り組む習慣が身に付いていない児童が多いことが、全国学力学習状況調査から明らかになっています。改善に向けて働きかけているところですが、「週末もスポーツなど入るようになり、宿題の時間と睡眠とバランスがとれず、疲れ切ってしまうことがある。」(自由記述欄より)

というご意見もいただいています。第1回の評価でも同様のご意見がありました。学年全体としては適切な量であっても、個々で見れば適切ではない場合もあると思います。そのような時は、ご相談いただければと思います。



授業中、しっかり話が聞けること		第1回	第2回
	低学年児童	92.9%	70.7%↓
	高学年児童	86.3%	89.4%↑

授業中、しっかり発表すること		第1回	第2回
	低学年児童	83.3%	76.7%↓
	高学年児童	59.9%	58.8%↓

子どもに基礎学力が身に付いていること		第1回	第2回
	保護者	80.1%	84.1%↑
	教職員	68.8%	80.0%↑

高学年児童では、「話を聞くこと」の割合が第1回から上昇しています。「発表すること」は、第1回の割合を下回りました。しかし、『よく出来ている』と答えた児童の割合は、第1回が27.5%に対して、第2回は32.6%と高くなっています。高学年児童については、授業中だけでなく、委員会活動やなかよし集会など、全体の場でも、分かりやすく発表する姿もあり、この結果と重なると感じます。

「学習発表会では、どの学年の子もしっかりと舞台上で発表する姿に感動しました。また鑑賞している時の子どもたちも落ち着いて静かに観ているなと思いました。」(自由記述欄より)とお感じのように、どんな場面でも「聞く」「発表する」力を発揮できる子どもたちに育ってきています。

しかし、低学年児童では、第2回はどちらも1回目を下回りました。「聞くこと」「発表すること」は低学年で丁寧に指導することで、高学年になって子どもたちの力となっていきますので、本校の高学年児童の姿をよい手本としながら、指導していきたいと思います。



【◆豊かな心・健やかな体】



学校が一人一人を大切に した取組を行っていること		第1回	第2回
	保護者	82.4%	82.5%↑
	教職員	100.0%	95.0%↓

1年間通じて80%以上の高い割合となりました。「丁寧に指導していただきありがとうございます。子どもがやる気いっぱい過ごしています。」(自由記述欄より)というご意見をいただきました。しかし、「教職員の異動や退職や、担任が毎年変わるなど、子どもたちにとって環境の変化はとても大きな影響があります。書面だけの引き継ぎで、子ども一人一人が気持ちよく過ごせるのか疑問です。」(自由記述欄より)

というご意見もいただきました。教職員の異動に関わっては、書面だけの引き継ぎではなく、複数名で書面をもとに口頭でしっかりと引き継ぎをしていますが、不明な点や不安なことはおありだろうと思います。そのような場合は、学校までご連絡いただければと思います。



子どもが「おはよう」などのあいさつや「ありがとう」と進んで言えること		第1回	第2回
	保護者	79.6%	85.3%↑
	低学年児童	94.7%	92.4%↓
	高学年児童	90.6%	94.7%↑
	教職員	76.5%	75.0%↓

子どもが身の回りの整理・整頓や掃除を進んですること (児童：進んで掃除をすること)		第1回	第2回
	保護者	47.2%	42.2%↓
	低学年児童	93.6%	92.4%↓
	高学年児童	87.8%	86.3%↓
	教職員	76.5%	70.0%↓

子どもが履き物を自分でそろえること (児童：トイレのスリッパやぬいだくつをそろえること)		第1回	第2回
	保護者	48.2%	47.6%↓
	低学年児童	90.6%	90.6%-
	高学年児童	88.5%	87.2%↓
	教職員	81.3%	80.0%↓

「あいさつ」「そうじ」については、高学年児童では、『よく出来ている』と答えた児童の割合は、第1回より増えました。また、「スリッパ」については、低学年児童で『よく出来ている』と答えた児童の割合が、第1回より増えています。全体を通して、第1回の割合から下回っていますが、児童の意識の高まりは感じます。また、保護者の方の割合は第1回より下回り、やはり学校では出来ているが、家庭では出来ていないという第1回の様子から変化は見られなかったのだと思います。「**学校では、いずれの項目についても、とてもよく対応してくださっていると感謝しています。家庭で、特に生活面など取組がなかなか出来ていませんが、根気強く対応したいと思っています。**」(自由記述欄より)というご意見もあるように、共に根気強く子どもたちに関わっていきたいと思います。

「あいさつ」については、梅津中学校生徒会のメンバーが月1回、本校の運営委員会の5、6年生と一緒に朝のあいさつ運動をしています。この継続した取組により、積極的にあいさつする児童は増えてきています。中学生にとってもよい取組だという報告もあります。「**自らあいさつする子が減っている。こちらがあいさつしても知らん顔の子がいる。**」(自由記述欄より)といったご意見もあります。「あいさつ」はもちろん、そうじや履き物をそろえることも、いつでもどこでも出来るよう継続して指導していきたいと思います。



【◆学校・家庭・地域との連携】

保護者が学校行事(参観・懇談など)に参加すること		第1回	第2回
	保護者	84.0%	81.2%↓
	教職員	93.8%	90.0%↓

子どもが地域行事やPTA行事に参加すること (児童：PTA行事や地域の行事に進んで参加すること)		第1回	第2回
	保護者	61.6%	64.4%↑
	低学年児童	71.6%	63.1%↓
	高学年児童	57.1%	61.5%↑
	教職員	82.4%	85.0%↑

学校行事については、子どもたちのより良い成長を第一に考え、保護者の方に参加していただきやすいように計画していきたいと思います。

「**PTAの意義は分かりますが、仕事と家庭の両立に悩みます。**」(自由記述欄より)同じように感じられる保護者の方もおられると思います。地域行事やPTA行事に参加する児童は、大変楽しそうな姿を見せています。それぞれの行事の中で役割を担うことで、自己有用感をもつこともできます。地域の方、PTAの役員の方々には、お忙しい中子どもたちのことを考えお取り組みいただいています。PTA活動については、例年たくさんのご意見をいただきます。「PTA活動自体について」や「PTA役員の選出方法」、「PTA行事の内容について」等がありました。今年度、PTA行事の精選を行い、行事や打合せの回数を減らす等、様々なご意見を反映していただいています。また、PTA会費で学級図書が充実するように本も購入していただいています。PTA総会などの場でご意見を出していただき、さらに改善に向けて話し合っただけならと思います。

学校であったことを家で話すこと		第1回	第2回
	低学年児童	79.9%	84.8%↑
	高学年児童	84.6%	82.3%↓

「学校であったことを家で話すこと」については、第1回学校評価特別号では『家庭での安心感が児童の情緒面の安定につながる。』『学習に意欲をもって向かう力になったり、困難にぶつかったときの支えになったりする。』というようにお伝えしました。低学年児童では、第1回に比べ大きく割合が上昇しました。高学年児童については若干下回っているものの、80%を上回る割合でした。

「いつも楽しそうに学校であったこと、行事で体験したことを話してください。これも先生方の励ましやご指導のおかげと感謝しております。ありがとうございます。」「行事やいろいろな活動等すべてにおいて、楽しんで取り組んでいる様子を子どもから聞くことができます。学校の取組をありがたく思います。」（自由記述欄より）というご意見もいただきました。



『低学年から丁寧に子どもの話に耳を傾ける環境が、高学年になっても安心して話が出る家庭の雰囲気となる』ということも、第1回学校評価特別号でお伝えしていました。「毎回同じアンケートを取って、その都度改善されているのかわかりません。」（自由記述欄より）というご意見がある一方で、「定期的にアンケートがあることで、親としてのふりかえりの意味でありがたいです。特に出来ていないことについて改めて実践する気持ちになれるので。」（自由記述欄より）というように、ご家庭で意識していただいたからこそ、子どもたちの良い変化につながっているのだと思います。また、同じ項目でアンケートを取ることで変化を見取ることが出来ます。アンケートの結果をしっかりと生かし、今後とも梅津北小学校児童のより良い成長に向け、取組を進めていきたいと思ひます。

【学校運営協議会でのご意見】

- ◎授業態度（発表する・聞く）をしっかりと指導してもらい、それらの力が伸びている。
- ◎参観で授業の様子を見ていて、昨年は離席していた児童が、今年は落ち着いて授業を受けていて、成長した姿が見られた。
- ◎子どもたちは、先生の指示を、落ち着いてしっかり聞いている。先生同士で役割分担をして、指導にあたられていた。
→学年会等で、指導について十分に打ち合わせをしている。教職員同士のコミュニケーションもよくとれている。



- ◎宿題の量は、『学年×10分』で取り組める量なのか。
→年度当初に、「学力向上研修」で宿題の量について、全教員で検討している。おおむね目安の時間で終わる量となっているが、「家に帰ると集中できない」「疲れていてはかどらない」などの理由で、目安の時間を超える場合はあると思う。個々にご相談いただければと思う。

- ◎あいさつをする子どもが、以前に比べるとずいぶん増えた。
- ◎登校途中に泣いている子どもが少なく、明るく元気に登校している。



- ◎一人、二人で遅れて登校している子どもがいるのは、気がかり。低学年の子どもが多い気がする。安全面で心配している。
- ◎社会全体として、不登校児童の増加は気になる。
- ◎児童館からの下校はきちんとしている。学校から下校の場合は、歩き方が気になる。
→児童館からは集団下校なので、道路の端を歩くなど、気を付けている。学校でも、安全ノートを活用しての安全指導や、町別集会などで、下校路の安全についても継続して指導していく。



※「→」は学校としての意見です。